

(令和7年度)  
自己評価書

園番号	園名
701	奈良市立富雄南こども園

701奈良市立富雄南こども園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
I 教育・保育活動に関するもの	(1) 教育・保育目標/計画	① 教育・保育目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の教育・保育目標を職員間で共通理解をする。</li> <li>「奈良市こども園カリキュラム」に基づき、教育・保育活動を計画、実施する。</li> <li>目標達成に向けて、教育方針の周知や基本方針に基づいた保護者アンケートや学校評議員などから意見を聴取し、その評価から教育活動を検証する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育目標達成に向け、研究主題を「自ら遊びを創り出す子どもの育成～遊びは学び～」と設定し、子どもが心を動かし遊ぶ姿を3つの資質能力の視点で読み取った。学びにつながる環境構成や保育者の関わり、ITCを活用し遊びの振り返り等意識しながら保育に取り組んだ。</li> <li>各種たよりや学級懇談会、個人懇談、でいあシートやHP等で、園の教育方針や取組を啓発してきたことで、保護者アンケートによる園評価では、高い評価を得た。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「遊びは学び」であることを念頭に、遊ぶ時間を確保し子どもが主体的に遊びを創り出す過程を大切にしている。研究主題に沿った観点で保育実践にあてられたか。</li> <li>幼児教育の啓発を様々な方法出工夫し、その普及に努めたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度に出た教育活動での反省や課題を見直し、来年度につなげていく。</li> <li>園内研究会等の研修の時間を確保し、専門職である意識をもって資質向上につなげていきたい。</li> </ul>
		② 教育・保育計画の作成			B		
		③ 教育課程/全体的な計画の編成			B		
		④ 教育・保育活動の評価			B		
	(2) 教育・保育内容/指導	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画を毎月見直し、各学年の実態に即した計画を立案する。</li> <li>「自ら遊びを創り出す子どもの育成～遊びは学び～」と研究主題を定め、子どもが心を動かし遊んでいる姿から学びについて読み取り、必要な環境構成や援助の工夫について検証する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの遊びの姿から3つの資質能力の視点で学びを読み取り、分析することで、継続的な遊びの重要性や、発達を支えるための保育者の関わりや環境が分かり、子ども理解につながった。</li> <li>保育実践の振り返りを定期的に行うことで、職員間で意見を出し合い、発達の姿に即した指導計画の更新や保育内容の工夫につなげることができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの実態に即した指導計画となるよう見直し、PDCAサイクルを行い、保育実践の充実につなげることができたか。</li> <li>研究主題に沿って子どもの育ちを見取り、遊びの中の学びを意識して保育実践の改善に努めたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育実践の振り返りを通して、子どもの発達に即した援助や環境構成を見直し、次年度の指導計画に活かしていく。</li> <li>研究主題観点から年間を通じて保育実践の研究を行い、資質向上につなげていきたい。</li> </ul>
		② 保育内容の精選			B		
		③ 指導方法の工夫改善			B		
		④ 評価			B		
	(3) 園行事	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが主体となる園行事の方向性を共有し、感動体験を積み重ねられるよう、必要性和実施方法を見直し、豊かな心を育む活動を立案する。</li> <li>様々な行事や参観も含め、保護者アンケートを実施し、学校評議員の方からも意見を聴取し評価を得る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事方法を見直し、子どもにとって必要な経験を行えるよう職員間で目的を共有し、子どもの実態に応じた内容になるよう工夫して実施したことで無理なく進めることができた。</li> <li>地域の教育力を活かし、様々な人との関わりの中で体験を積み重ねることで、自らやってみようとする等豊かな心を育むことにつながり、地域や保護者からも高い評価を得た。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事のあり方を見直し、子どもに必要な経験となるよう改善を図ることができたか。</li> <li>取り組んできたことを、保護者アンケートや学校評議員、地域教育協議会から高い評価が得られたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊び保障を行うために、今年度の反省から、さらに行事の精選と見直しを行い、次年度に向けて実施回数や時間帯等改善する。</li> </ul>
		② 行事内容の精選			B		
	(4) 人権教育	① 人権教育指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権意識の向上を図るとともに、正しい物の見方や、考え方ができるようになる。</li> <li>自分も友達も大切し、まわりに支えられていること意識できるような、取組を進めていく。</li> <li>保育者自身が人権感覚を磨き、日々の保育の中で、一人一人が大切な存在であることを伝え指導していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員全体で不適切保育についてのチェックリストを活用し、考えや行動を振り返ったことで、人権教育の意識が高まった。</li> <li>一人一人の子どものありのままを受け止め、互いの良さを認め合めあえるよう園全体で異年齢交流など取組を進めたことで、思いやりの気持ちをもち関わる姿が増えた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画をもとに、一人一人の人権を尊重した保育内容の見直しと改善に努めたか。</li> <li>一人一人の思いや考えを大切にし、自他を大切にすることを子どもの育成につなげられたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の人権感覚を磨き、一人一人を大切に保育を心がけていきたい。</li> <li>互いに認め合い育ち合いができる取り組みを進めていきたい。</li> </ul>
		② 保育内容の精選			B		
		③ 指導方法の工夫改善			A		
	(5) 生徒指導	① 組織的な指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児一人一人の実態を職員間で共有し、いじめや虐待につながるような事象については早期発見・迅速な対応を心がけ、各関係課や小学校等と連携を図る。</li> <li>プライバシーを守り、保護者が話しやすいような雰囲気や環境づくりを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児や保護者の様子について小さな事柄でも、気になることがあれば全職員で情報共有し課題解決をしていけるようにするとともに、関係機関とも連携していくように努めた。</li> <li>日々の子どもの様子を丁寧に伝え、保護者の思いを受け止めるようにした。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達の実態や課題を全職員で共有し、解決に向けて意見を出し合い、みんなで見ていく意識をもてたか。</li> <li>関係機関との連携を図って保護者と情報共有し、問題解決にあたれたか。</li> <li>気になったことなど職員間で共通理解し、対応できたか。</li> <li>普段の様子を伝え、関係機関とも情報共有ができていくか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者と関係を築き、子どもの実態を共有しながら理解を得て共に同じ方向性をもって進め、子ども理解につながれるようにする。</li> <li>早期発見と報告による関係機関との連携を図り、実態把握と改善に尽力していきたい。</li> </ul>
		② 教育相談・こども理解			B		
		③ 家庭との連携			B		
		④ 関係諸機関との連携			A		
		⑤ いじめ・児童虐待問題について	・ 対処方針や指導計画が明確である	B			
			・ 日頃より実態把握・早期発見に努めている	B			
			・ 各学級の状況を園組織として共有できている	A			
	(6) 特別支援教育	① 推進体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援コーディネーターと全職員が連携し、支援を要する子どもの発達や育ちを見極め、よりよい方向に進んでいけるようにする。</li> <li>特別支援コーディネーターが主となり、定期的に支援会議を開き、支援の方向性や支援方法を確認する。</li> <li>関係機関と連携を図ると共に、保護者の思いを大切にしながら、子どもの成長につなげられる体制を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援コーディネーターを中心に、随時支援会議を開き、情報共有を行った。</li> <li>支援を要する園児に対する、支援方法を検討したり、関わり方を確認したりして職員全体で支援していけるよう取り組んだ。</li> <li>関係機関との連携を図り、園巡回・園訪問・教育相談など、保護者と思いを聞きながら同じ方向を持ち進められるよう取り組んだ。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の課題を共有し、保護者の思いを大切にしながら、一人一人の実態に即した支援方法を探ってきたか。</li> <li>特別支援コーディネーターを主にしながら、課題に応じた保育の工夫や、資料作成を計画的に実施することができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の子どもの課題に対する受け止め方や理解が違い、共通認識する難しさはあるが、丁寧に話し合いながら進めていく。</li> <li>保育所等支援訪問事業の活用や、小学校の園訪問も充実させながら継続して連携していきたい。</li> </ul>
		② 個々に応じた特別支援教育の内容			B		
		③ 指導方法の工夫改善			A		
④ 家庭との連携		B					
⑤ 関係機関との連携		A					

園番号	園名
701	奈良市立富雄南こども園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
Ⅱ 園 経 営 に 関 す る も の	(1) 組織運営	① 園長のリーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>園ビジョンについての考えを明らかにし、園児・保護者・職員にとって、安心、安全な園経営を目指す。</li> <li>円滑な園運営のために、職員の資質向上をねらい、適正な配置と事務分掌の分担を行い、職員の業務改善に取り組む。</li> <li>職員会議等で園運営について、共通理解を図り、職員相互のコミュニケーションを密にして協働的に教育・保育を進めていく。</li> <li>保護者アンケートの実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園ビジョンを作成し、園の基本柱を明確にした。また、全職員で教育目標を達成できるように、共有すると共に、研究主題については全職員で話し合い進めていった。</li> <li>昨年度に引き続き、様々な分野から業務を見直し役割分担等改善に取り組み、削減や改善を行った。</li> <li>保護者アンケートや学校関係者評価を実施し、課題を明確化して改善へつなげることができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員がそれぞれの立場で力を発揮し、園の教育・保育を推進することができたか。</li> <li>職員の思いや考えを受け入れながらみんなで課題解決に向けて取り組むことで、様々な方法を探り工夫していくことができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの立場から課題解決に向けて意見を出し力を合わせて行ってきた。業務をどう削減見直して時間を有効に活用するか、業務の効率化についても一人一人が引き続き意識して取り組めるようにしていきたい。</li> </ul>
		② 園経営目標・方針					
		③ 職員の適正配置と運営への参加意識					
		④ 園務分掌等の連携					
		⑤ 会議の運営と位置づけ					
		⑥ 会議の結果					
		⑦ 職場の人間関係					
		⑧ 園評価の実施					
	(2) 研究・研修	① 資質の向上をめざした組織的・計画的な園内研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>各クラスの園内研究会を年1回ずつ実施し、その他随時振り返りや各種研修を実施し、専門職としての技術を磨く。</li> <li>職員が園内研究会、市内市外も含めた各種研修会に参加できるよう体制を整え、積極的に職員の資質向上に努める。</li> <li>研究主題に沿って保育者間で語り合い、子ども理解につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間計画に沿って、保育者の資質向上を目指し、担任各1回研究主題に沿った園内研究会を実施した。子どもの姿を見取りながら遊びの中の学びについて、意見交流し、育ちにつながる環境構成や援助の工夫についても話し合った。</li> <li>園内外の研修やブロック別公開保育、リモート研修や動画配信などにも積極的に参加し、その内容を職員で共有することができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの姿について語り、遊びの中の学びやさらに明日へつながる環境構成や援助について、様々な意見を出し合い、資質向上につながったか。</li> <li>研究主題の観点に沿った研修・研究を充実させ、研究実践概要の作成にあたれたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の見直しをしながら、職員間で話し合う時間を確保して全職員が学びを共有できるように工夫すると共に、職員が自ら研修へ参加する意識が高まるようにする。</li> <li>園内研修において研究主任を設置し、職員が活発な意見交換をして主体的に学び合う方法を模索し実践していく。</li> </ul>
		② 保育改善を目指した保育研究・実践の実施					
		③ 園外の研修への積極的参加					
		④ 園外研修内容の共有					
		⑤ 研修成果の普及					
	(3) 安全管理	① 安全計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>「安全管理マニュアル」を見直し、全職員で協議し危機管理体制を整える。</li> <li>避難訓練、防災訓練を計画実施し、地域や保護者との連携を強化する。</li> <li>子どもや子どもを取り巻く人的・物的環境を見直し、課題改善に努め、対策を講じて一人一人の防災・安全・危機意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「安全管理マニュアル」を年度当初に全職員で確認し合い、共通理解を図るとともに、毎月の避難訓練で想定に応じた対応について職員間で役割を確認し意見を出し合った。また地域や小学校、保護者や関係機関との合同防災訓練を実施し、子どもや保護者の防災意識の向上につながった。</li> <li>老朽化に伴う園舎屋根の張替工事が行われ、工事の足場がある期間は、動線や降園場所、駐輪場等、保護者に周知し協力のもと安全面を配慮して行うことができた。</li> <li>PTAの協力のもと、日よけシェードをつけてもらい、熱中症対策を進めることができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全安心につながる園づくりに努めたか。</li> <li>安全・危機管理意識、防災意識をもって全職員で共通理解が図れたか。</li> <li>保護者や地域、その他関係機関と連携して対策を講じることができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な災害についての、避難方法や職員の役割や連携を繰り返し確認することで意識を高め、臨機応変に対応できるようにしていく。</li> </ul>
		② 防災計画の立案					
		③ 危機管理体制の整備					
		④ 安全指導の工夫改善					
		⑤ 家庭との連携					
		⑥ 関係機関との連携					
	(4) 保健管理	① 保健計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康で安全な生活に必要な習慣や態度が身に付くように、家庭との連携を大切にしながら指導に努める。</li> <li>園医や薬剤師との積極的な連携や健康管理に努める。</li> <li>食物アレルギー対応児について全職員で周知し、日々確認を行い安全な食の提供を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症に対する知識や日常生活で起こるけがについて全職員で共有すると共に、子ども自身が身につけられるように機会を捉え知らせる等啓発や指導を行った。</li> <li>アレルギー対応について、朝礼で毎朝確認し、研修等でも意識を高め、気になることは職員間で意見を出し確認し合い情報を共有した。</li> <li>感染症が流行した際には、園医と相談し学級閉鎖や感染症対策を啓発する等、速やかに対応を行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭との連携において、健康管理に努め感染症については、啓発し対策の意識を高められるような働きかけを行ったか。</li> <li>保健衛生に関する情報について、専門機関や関係課と連携して心身の健康管理に留意できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人への適切な対応や、計画的な健康指導等、危機管理意識をもって行っていく。</li> <li>保健衛生に関する情報について、引き続き掲示したり、各家庭にコードモンアプリを使用しての啓発に努めていく。</li> </ul>
		② 心のケアや健康相談の体制の整備					
		③ 健康観察、健康管理能力の育成					
		④ 関係機関との連携					
		⑤ 昼食（給食等）の衛生管理					
	(5) 地域との連携	① 園情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の取組や子どもの活動の様子などを掲示やHPに掲載し、園教育への理解や参観していただけない行事等にも関心をもっていただけるようにする。</li> <li>学校評議員会・運営委員会を開催し、園運営や地域で決める学校予算事業に対してのご意見をいただく。</li> <li>小学校就学への段差を少しでも滑らかにできるよう幼小交流活動を計画し実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で決める学校予算事業や園行事では、体験活動に新たな地域の方も加わり、様々な人と関わる中で親しみの気持ちをもち身近に感じる機会となった。また、HPへの掲載や掲示等で園での様子を知らせるようにした。</li> <li>小学校と連携し、5歳児が小学校のアートデイの見学や1、2年生との中休み交流、作品展見学等の交流活動を通じて、小学校を身近に感じ、就学へ期待をもつ姿につながった。</li> <li>評議員会や運営委員会、地域教育協議会は園運営のついでの方角性について意見をもらい進めることができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や保護者に園の教育・保育活動を知っていただき、関心を高める工夫を行ったか。</li> <li>地域の方や小学校との交流活動は、子どもの育ちにつながっているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校と連携しより身近に感じ、入学に期待がもてるような取組を引き続き実施していきたい。</li> <li>地域の方との交流は、活動内容を精選しながら、こどもにとってよりよい活動となるよう地域と連携して行っていきたい。</li> </ul>
		② 園(保育)公開					
		③ 小学校との接続・連携					
		④ こ幼保との連携					
⑤ P T A ・保護者会の活性化							
⑥ 地域教育協議会との連携							
⑦ 学校関係者評価の実施							
(6) 施設・設備	① 保育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>四季を感じる環境の工夫や、柔軟な発想で工夫し、子どもの豊かな経験につながる環境づくりを行う。</li> <li>施設の美化清掃に努め、危険箇所・修理箇所の整備をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節や子どもの遊びの状況に応じて、園庭の環境を見直し、熱中症対策や遊具の安全点検、草引き等を行いながら環境の工夫を行った。</li> <li>屋根や防犯設備等、市や地域・保護者と連携しながら改善に向けて取り組んだ。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもや保護者、その他来園者が安全安心に利用できる園内環境を整えたか。</li> <li>日々の保育の中で、危険な所はないかを意識しながら取り組めたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月1回は安全点検を行い、安全面の配慮を職員が意識し、心がけていく。</li> <li>経年劣化も含め、危険と分かった際は、引き続き迅速な対応をしていく。</li> </ul>	
	② 施設設備の有効利用						
	③ 施設設備の管理						
(7) 情報管理	① 公文書の收受・保管	<ul style="list-style-type: none"> <li>公文書の適切な処理と安全な保管場所について、全職員に周知する。</li> <li>個人情報の取扱いについては、情報セキュリティポリシーにのっとり、厳重な管理の徹底を図ると共に、定期的に確認をすることで、意識向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公文書や個人情報を記載した書類などについては、厳重に取扱い、マニュアルに基づいた管理保護の徹底に努め、職員間でも再確認した。</li> <li>職員以外が无意中に職員室に入らないよう対策を講じた。鍵の保管場所等も見直した。またPC画面の覗き込み防止のため、フィルターを購入するなど、個人情報保護に努めた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報機器の取り扱いについて全職員で再確認し、管理の徹底につながったか。</li> <li>個人情報に関するデータや書類の保管や管理の徹底ができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員が、個人情報保護法に反しないという意識をもって勤務できるように、引き続きのデータ管理や啓発に努めていく。</li> <li>引き続き研修等に参加し、個々に情報管理の意識を高めるようにする。</li> </ul>	
	② 公文書の作成						
	③ 個人情報の管理・保護						
	④ 情報の収集						
	⑤ 電子媒体の管理						